

# 山麓探偵団通信

1月号

山麓探偵団、2012年度の活動を報告します。

月 須走あざみラインから馬返しまでを、スノウシューで

(伊藤浩美団長)

一月 雨天のため、青空レストラ

ンは、屋内ゲームと昼食に変更(ペンションまりも団

長)

二月 雨天中止

四月 富士霊園と小山町雑木林

(伊藤浩美団長)

五月 本栖湖・竜ヶ岳の裾野(伊

藤浩美団長)

六月 西丹沢大棚の滝 野外一泊

(戸高雅史団長)

七月 山中湖畔の昆虫観察(林正

美団長)

九月 須走五合目から六合目(伊

藤浩美団長)

十月 太郎坊周辺散策(伊藤浩美

団長)

十一月 ステンシルで秋を描く(木

村奈保子団長)

十月 山中湖畔のづな峠から一

峠(戸高雅史団長)

十一月十二日(木) 快晴のその日は、「みーんなけもの道」と題して、道なき道を自由に広がって歩

きました。

戸高雅史団長から、意識のスイッチを外し、頭ではなく身体で感じてほしいとお話がありました。登山道を歩くと、どうしても今ではなく、この先に意識が介入して

しまいがちです。身体が先に動くことで、今この瞬間を生き、それが富士山との対峙の仕方を変えるかもしれないとの願いで、しめくくられました。

参加者の感想文



## 参加者の感想文

K 木肌によつての感覚のちがひ、温かみなどを感じました。

T 道なき道で、季節の移り変わ

りや変化を感じました。

N

自分より小さな生き物になってみて、葉が落ちた森の中で、身を隠すのがいかに困難かを知りました。



O

雪や氷がきれいで、いい一日でした。これから、もつと自然と触れ合いたいと思います。富士山の姿が年末にふさわしく雄大で、日々のあれこれから少し解放されました。

S

匹オオカミになったつもりで、離れて歩きましたが、はぐれオオカミになってしまい、みんなに会えたときは、うれしかったです。

M

自分の視点を自分なりに決めて歩いていますが、八ヶ岳とは異なる自然の向かい方に出逢えたように思います。

H

生き物のけなげさ、けもの道の選び方を、あらためて評価できた一日でもありました。

H

◆この次の探偵団活動のご案内

## ◆この次の探偵団活動のご案内

毎年ご好評の「雪上青空レスト

ラン」は、「是非、雪のある時にしよう！」というご意見から、二月

か二月の、降雪やお天気の状態を見通してから、ハガキでお知らせ

したいと思います。乞うご期待!

◎ではみなさん、極寒の冬を健やかに越しましょう。

発行先 山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八

電話 〇五五五・六五・七〇一一

電話 〇五五五・六五・七〇一一

電話 〇五五五・六五・七〇一一